

資料館だより

発行

高松宮記念ハンセン病資料館
〒189 東京都東村山市青葉町4-1-13
電話 0423-96-2909
FAX 0423-96-2981
郵便振込 東京00130-7-764159
高松宮記念ハンセン病資料館運営協力会

見えない壁を越えて

—声なき者たちの証言—



資料館四周年記念 記録映画会に五百人

高松宮記念ハンセン病資料館は六月二十五日で開館四周年を迎えた。毎年開館記念日には、シンポジウムやフォーラムを開催してきたが、今年は

映画、「見えない壁を越えて」—声なき者たちの証言—の上映会が六月二十二日(日)午後一時より多磨全生園コミュニティセンターで開催された。

新聞、市報、全療協ニュースなどに関係記事が載つたこともあって資料館には電話による問い合わせが次々とあつた。当

ど、全体で四十以上の自治体から五百人以上の人気が集まつた。会場は車イス、立ち見などもあつてぎつしり、入り切れない五十人程の人は資料館ビデオホールで同映画のビデオによる鑑賞を行なつた。

映画上映に先立ち、開会の挨拶にたつた成田運営委員長は「この映画はハンセン病の歴史の証言を映像化したものである」と述べ、次に大谷資料館館長・藤楓

都内の新宿、中野、板橋、練馬、足立、千代田、世田谷など九区、隣の埼玉県からは所沢、狭山、朝霞、入間、志木、新座、日高、浦和の八市、その他、横浜、川崎、伊勢原、平塚、千葉、松戸、桐生、御殿場、豊中の九市と山梨県、福岡県など、全員で四十以上の自治体から五百人以上の人気が集まつた。会場は車イス、立ち見などもあつてぎつしり、入り切れない五十人程の人は資料館ビデオホールで同映画のビデオによる鑑賞を行なつた。

映画上映に先立ち、開会の挨拶にたつた成田運営委員長は「この映画はハンセン病の歴史の証言を映像化したものである」と述べ、次に大谷資料館館長・藤楓



感想については二面参照。
67

会社員 37才 男性 池袋

現在、厚生省が検討している感染症対策の新法の公衆衛生審議会を傍聴していました。らい予防法廃止の歴史が生かされ、人権が守られる新法がつくられるようにジャーナリズムも頑張らねばと思いました。（岩波書店宣伝部）

栄養士 49才 女性 横浜
ほんとうにすばらしい記録映画でした。

来たかいがありました。ほんとうに来て良かつた。二時間が短く感ぜられました

ハンセン病について、またその患者さん達の筆舌に尽くしがたいご苦労の数々、学ばせていただきました。ありがとうございました。

大学生 21才 女性 山梨
ハンセン病についてほとんど知りませんでした。先輩につれられて八人で山梨来てよかったです。今でもこれ

感想文

会社員 37才 男性 池袋
すばらしい上映会でした
現在、厚生省が検討している感染症対策の新法の公衆衛生審議会を傍聴していました。らい予防法廃止の歴史が生かされ、人権が守られる新法がつくられるように、ジャーナリズムも頑張らね

から生活の保障がないとか、初めて知つて自分の無知に腹が立ちました。 医学生なので「ハンセン病」に関わらず患者の人権を無視するような医者にはならないぞ」とかたく決意しました。

ハンセン病患者の方が長い間苦しんで来たこと、また明治の頃から救済に立ち上がつた人がいたということが、その当然ではあるが勇気ある行動に感心しました。教諭 34才 女性 東村山

最後の方で国は救済ではなく保障をという話がありました。らい予防法が廃止され、済んだと思つていましたが、まだまだ問題が残されています。これがわかります。

した。今の教育の中で真剣に差別のことを子供たちと考えてゆかなければ、エイズなどのことのように同じことをくり返してしまうと思います。自分たちの今後の生き方を考えさせられま

気がする。この作品を見て、そんな思いを深くした。
そして、証言者たちの“これはハンセン病だけに限つたことではないのだ”という言葉が印象に残つた。それでも最後のコダマさんの詩の力強いこと！ 感動した。

会社員 37才 男性 東村山
国、法律への不信感が増大した。今まで全く知らないかったハンセン病の人々に対する人権無視の扱いに対して、大変国、法律に失望した。法律が正しいという考え方を改め、疑いを持つて眺めることが必要である。科学で証明される事実が正義である。——略——

会社員 29才 女性 国分寺
とても言葉では言い表せないような侮辱があつたことに、ショックをうけてしまいました。知らないで生活してきたことを恥ずかしく思っています。

こういう機会に学ぶことができて大変よかったです。



会社員 29才 女性 国分寺

卷之三

長島療友ら26名が見学 —昔むかし写真展—

毎年各療養所を二ヵ所ずつ紹介してい
る写真展、今
年は五月一日
より六月二十
九日まで、資
料館研修展示
室で「松丘保
養園 長島愛
生園昔むかし
写真展」を開
催した。

所、國立移管、養鷄場ララ物資、看護切替闘争、益踊り、勤労奉仕など四十三点、長島は開拓者81名、望ヶ丘の子弟たち、愛生座公演消防訓練、養豚、果樹園、初代（光田）と二代（高島）園長、納骨堂、点字講習、監房、邑久・長島大橋開通など四十三点だが、それ全紙や半折に拡大

パネル化して飾られ、見て判る療園の歴史として興味をひいた。

六月一日には三泊四日の

所在市町村連絡協
東京で九年度総会

ハンセン病療養所入所者
らの人权を守り、医療、福
祉向上のために昭和四十八
年より毎年、各地で総会を

細淵一男(東村山市長)の平成九年度総会が、今年は七月十六、十七日の両日東京で開催される。

しんでいた。四日は都内見物も行つた。なお来年は、栗生楽泉園と星塚敬愛園の写真展を予定している。

日程で、長島の入園者二十名と職員四名がバスで資料館・写真展見学に来訪、三日は資料館で四十年、五十年前の写真に「あつ、これはKさんだ」「これはあんただよ」と昔をなつかしく語る。

A black and white photograph capturing a group of people in a gallery or exhibition space. Several framed artworks are displayed on the walls, and visitors are seen from behind, examining the pieces. The scene is lit with a warm, slightly dim light, creating a focused atmosphere on the art.

日報（青森）夕刊に掲載された日本ハンセン病学会長高屋豪瑠（こうや・ごうよ）・弘前大医学部付属脳神経疾患研究施設教授（63歳）の投書「ハンセン病が抱える問題点」が事実誤認の上「ハンセン病の差別を助長する」と批判が上がり、日本ハンセン病学会幹事会が異例の警告文を送った。

事が総辞任

五月二十二日、弘前市で開催された第七十回日本ハンセン病学会では、成田稔庶務幹事名で謝罪文を出すとともに、高屋会長が自発的に辞任したことを見た。幹事会では高屋会長を選んだ責任をとり現幹事全員と、次期

学部長、学会庶務幹事に抗議文を送つて即刻会長辞任を求めた。

しかし、本人には反省の意思がない、さらに毎日新聞の取材に対しても「らい予防法廃止は間違いだつた」「あなたがらは間違つた」「あなたは逃げる」「患者なら私は逃げる」などと、時代逆行の者が社会に受け入れられるはずがない」と、時代逆行の是正が求められた。この問題は、心ない一医師の時代錯誤の長（菊池一郎）が決まつたが、県・宮古南静園園長による各方面への影響は大きく、その責任は重大である。

会長、幹事が総辞任

全国ハンセン病療養所所在
市町村連絡協議会（会長・

十七日は全生園資料館の見学も予定されている。

超えて」一二〇分 価格
千円 注文は資料館まで

映画のビデオ完成 記録映画「見えない

しんでいた。四日は都内見物も行つた。なお来年は、栗生楽泉園と星塚敬愛園の写真展を予定している。

日程で、長島の入園者二十名と職員四名がバスで資料館・写真展見学に来訪、三日は資料館で四十年、五十年前の写真に「あつ、これはKさんだ」「これはあんただよ」と昔をなつかしく語る。

昨年八月三十一日付東奥日報（青森）夕刊に掲載された日本ハンセン病学会長高屋豪瑩（こうや・ごうよ）・弘前大医学部付属脳神經疾患研究施設教授（63歳）の投書「ハンセン病が抱える問題点」が事実誤認の上「ハンセン病の差別を助長する」と批判が上がり、日本ハンセン病学会幹事会が異例の警告文を送った。

セイジン病学会
事が総辞任

五月二十二日、弘前市で開催された第七十回日本ハンセン病学会では、成田稔庶務幹事名で謝罪文を出すとともに、高屋会長が自発的に辞任したことを見た。幹事会では高屋会長を選んで責任をとり現幹事全員と、次期

資料館駐車場で 観桜のコーラス会

四月九日(水)は全生園の観桜会。今年は桜の開花が例年より早く雨もたたられたが、幸いこの日は好天に恵まれ、花吹雪の舞う中資料館駐車場では恒例の演芸会が開催された。

ショウなどが行われた。
模擬店もあり、普段部屋



に閉じこもりがちな各センターの方たちも青空のもと羽を伸ばし午後のひとときを楽しんだ。

真言宗智山派高僧が 母娘遍路像供養

全生園真言宗大師堂建立十五周年記念式典が行われた四月十六日、式典に先立ち午前中、資料館において智積院、成田山新勝寺、川崎大師、高幡不動、高尾山藥王院などの高僧二十三名、



御詠歌連、全生園大師講の信者など二十五名が参加して、母娘遍路像の法要が行われた。

期日・八月二十五日(月)
二十九日(金)

場所・多磨全生園研修棟。
二十七日は資料館見学と入

所者の話を聞く時間も計画

されることになった。

後援を得て毎年つづけられていた「ハンセン病医学講座・夏期大学」は、平成七年の第十九回講座をもつて閉じられると案じられていたが、この程厚生省事業として国立感染症研究所ハンセン病研究センターが主催して、次の要項で再開されることになった。

第20回夏期大学

八月に全生園で再開

笹川記念保健協力財団の

五月一日、福岡県三潴郡久間田村に生まれた。伝習館第五高等学校を経て東京帝國大学医学部に入った。卒業後母校衛生学教室において緒方教授の指導を受ける傍ら、東京養育院の医局に入り、光田健輔と

方教授の推薦により九州療養所医長兼所長に任せられた。

に欧米各国への出張を命ぜられた。その後、大正十五年七月

立二十五周年記念式に際し、二十五年勤務功労者として管理県知事より表彰された。同年五月二十七日熊本県阿蘇郡杖立温泉において穿孔性腹膜炎にて急逝した。行年五十六歳。勲五等瑞宝章。

河村正之

一八七八(明治十二)年
明治四十二年四月一日、緒月、熊本県技師を任せられ

るも、同十四年六月、技師は依願により免ぜられた。その後、大正十五年七月

昭和八年七月二十七日、創立二十五周年記念式に際し、二十五年勤務功労者として管理県知事より表彰された。同年五月二十七日熊本県阿蘇郡杖立温泉において穿孔性腹膜炎にて急逝した。行

一八七八(明治十二)年
親交を結ぶに至る。

一九二〇(大正九)年三月、熊本県技師を任せられ

るも、同十四年六月、技師は依願により免ぜられた。その後、大正十五年七月

昭和八年七月二十七日、創立二十五周年記念式に際し、二

〇あとがき
今回は毎号載せてきた来館者の声欄を休んで記録映画「見えない壁を越えて」の感想文を載せた。

前回も今回も貴重な意見が沢山あり選択に迷った。見られなかつた方は「ビデオ」をどうぞ!

(修)